

公益社団法人東洋療法学校協会編教科書
2024年度 再版修正一覽表

『医療概論』 (p.1~2)

(中川 米造 監修)

第1版第36刷(2023年1月)から第1版第37刷(2024年1月)への修正

『衛生学・公衆衛生学』 (p.3~12)

(鈴木 庄亮・高坂 宏一・出嶋 靖志・笹澤 吉明 著)

第2版第19刷(2023年1月)から第2版第20刷(2024年1月)への修正

『関係法規』 (p.13)

(前田 和彦 著)

第7版第15刷(2023年1月)から第7版第16刷(2024年4月)への修正

『解剖学』 (p.14)

(河野 邦雄 他著)

第2版第18刷(2023年1月)から第2版第19刷(2024年1月)への修正

『生理学』 (p.14)

(内田 さえ・原田 玲子 他著)

第3版第10刷(2023年1月)から第3版第11刷(2024年1月)への修正

『臨床医学総論』 (p.15~17)

(奈良 信雄 著)

第2版第15刷(2023年1月)から第2版第16刷(2024年1月)への修正

『臨床医学各論』 (p.18~27)

(奈良 信雄・佐藤 千史・三宅 修司・西元 慶治・山口 武兼・三高 千恵子 著)

第2版第20刷(2023年1月)から第2版第21刷(2024年1月)への修正

2024年4月
医歯薬出版株式会社

『医療概論』

頁	行	項目	第1版第36刷(2023年1月) 該当箇所	第1版第37刷(2024年1月) 修正
43	16	B) 中医学の継承発展の時代	…古くは『黄帝内経・靈樞』骨度篇に「解剖」の文字がみられ、…	…古くは『黄帝内経・靈樞』経水篇に「解剖」の文字がみられ、…
76	下10	a. 感染症から生活習慣病へ	… <u>2021</u> 年の死亡率は <u>11.7</u> となり、死因順位は、 <u>2021</u> 年には…	… <u>2022</u> 年の死亡率は <u>12.9</u> となり、死因順位は、 <u>2022</u> 年には…
	下5		…1970年には13.1、 <u>2021</u> 年には <u>1.7</u> まで下降	…1970年には13.1、 <u>2022</u> 年には <u>1.8</u> まで下降
86	下3	A) 医療従事者	設従事者で <u>85.2</u> (人)が就業している。…	設従事者で <u>82.5</u> (人)が就業している。…
87	7~14	B) 医療施設	7行目~14行目を以下の文章に差し替え わが国における病院と一般および歯科診療所の総数は、2021年において180,396施設であり、病床数は1,583,783床である。そのうち病院は、8,205施設で、一般診療所は104,292施設である。 病院数の総数は1990年をピークに、漸減し続けている。病院規模で言えば、すべての規模で減少傾向であるが、2021年現在、「50床~99床」の病院が、全病院数の25%を占めている。逆に、診療所においては、(診療所数総数は増加しつつあり)有床診療所の数は減少し、無床診療所の数は増加傾向にある。	
88	下2~ 次頁1		<u>2019</u> 年度には、前年度に比べ <u>9,946</u> 億円増加し、 <u>44兆3,895</u> 億円になった。この <u>2018</u> 年度の国民医療費での国民一人あたりの医療費は <u>35万1,800</u> 円で、国民医療費の国民所得に対する割合は <u>11.06%</u> になっている。	<u>2022</u> 年度には、 <u>新型コロナウイルス</u> の感染拡大に伴う受診控え等により、前年度に比べ <u>1兆4,230</u> 億円減少し、 <u>42兆9,665</u> 億円になった。この <u>2020</u> 年度の国民医療費での国民一人あたりの医療費は <u>34万600</u> 円で、国民医療費の国内総生産に対する割合は <u>8.02%</u> になっている。
89	4	B) 国民医療費の変遷および内訳	<u>2019</u> 年度のそれをみると、大きな比率を占めている順に、医療保険と労災補償等が含まれる「医療保険等給付分」 <u>45.2%</u> 、老人保健法による「後期高齢者医療給付分」 <u>35.3%</u> 、患者の一部負担等の「患者負担分」 <u>12.3%</u> 、生活保護法などの法律…	<u>2020</u> 年度のそれをみると、大きな比率を占めている順に、医療保険と労災補償等が含まれる「医療保険等給付分」 <u>45.1%</u> 、老人保健法による「後期高齢者医療給付分」 <u>35.6%</u> 、患者の一部負担等の「患者負担分」 <u>12.1%</u> 、生活保護法などの法律…
89	10~12		… <u>2019</u> 年度の医科診療医療費を主傷病による疾病分類別にみると、医療費の多い順に「循環器系の疾患」(<u>19.2%</u>)、「新生物」(<u>14.9%</u>)となっている。年齢階級別医療費でみると、医科診療医療費総数の <u>63.3%</u> 以上が…	… <u>2020</u> 年度の医科診療医療費を主傷病による疾病分類別にみると、医療費の多い順に「循環器系の疾患」(<u>19.5%</u>)、「新生物」(<u>15.2%</u>)となっている。年齢階級別医療費でみると、医科診療医療費総数の <u>64.2%</u> 以上が…

90	16	C) 国民医療費の増大とそれに関する問題	2022年4月現在, <u>1,764</u> 病院になり, ...	2023年4月現在, <u>1,761</u> 病院になり, ...
91	下15～ 下13	3) 医療保険のしくみ	…それぞれの医療保険適用者数(2019年度末)は, 被用者保険が <u>7,795</u> 万人(全体の <u>61.9%</u>), 国民健康保険が <u>2,932</u> 万人(全体の <u>23.4%</u>), 後期高齢者医療制度が <u>1,803</u> 万人(全体の <u>14.4%</u>)であり, ...	…それぞれの医療保険適用者数(2020年度末)は, 被用者保険が <u>7,778</u> 万人(全体の <u>62.4%</u>), 国民健康保険が <u>2,890</u> 万人(全体の <u>23.2%</u>), 後期高齢者医療制度が <u>1,806</u> 万人(全体の <u>14.5%</u>)であり, ...
	下2～ 下1	A) 被用者保険(職域保険)	これらの被用者保険適用者の構成比(2020年)は, 協会けんぽ <u>51.9%</u> , 組合健保 <u>37.0%</u> , 共済組合 <u>11.0%</u> , 船員保険 <u>0.2%</u> である.	これらの被用者保険適用者の構成比(2020年度末)は, 協会けんぽ <u>51.8%</u> , 組合健保 <u>36.9%</u> , 共済組合 <u>11.2%</u> , 船員保険 <u>0.1%</u> である.
92	下15～ 下13	B) 国民健康保険(地域保険)	2020年9月末時点で, 国民健康保険の保険者数・被保険者数は, (市町村)国民健康保険では保険者数 <u>1,716</u> (市町村), 被保険者数 <u>2,648</u> 万人であり, 国民健康保険組合では保険者数 <u>161</u> (組合), 被保険者数 <u>272</u> 万人となっている.	2020年度末時点で, 国民健康保険の保険者数・被保険者数は, (市町村)国民健康保険では保険者数 <u>1,716</u> (市町村), 被保険者数 <u>2,507</u> 万人であり, 国民健康保険組合では保険者数 <u>160</u> (組合), 被保険者数 <u>266</u> 万人となっている.
95	7	4) 公的医療負担	…戦傷病者特別援護法, 障害者自立支援法, 児童福祉法,	…戦傷病者特別援護法, 障害者総合支援法, 児童福祉法,

『衛生学・公衆衛生学』

頁	行	項目	第2版第19刷（2023年1月） 該当箇所	第2版第20刷（2024年1月） 修正
7	表 1-3	日本の衛生・公衆衛生に関連する主要事項	最下行に右の記載を追加	2023年（令和5年）内閣感染症危機管理統括庁が発足
8	12～14	2)日本の衛生学・公衆衛生学の歴史	2007年に感染症法に統合された。なお、 <u>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は指定感染症に指定され（2020年2月1日施行）、同年3月には暫定措置として新型インフルエンザ等特別措置法の対象とされた。</u> そのほか、…	2007年に感染症法に統合された。なお、 <u>2020年1月からのCOVID-19による世界的なパンデミック発生により感染症対策が大きく変化した。COVID-19は、様々な変異株の流行と終息を繰り返し、感染症法における扱いも指定感染症、新型インフルエンザ等感染症（2類）、5類感染症と変化した。</u> 将来の新たなパンデミック発生に備え、 <u>2023年9月には内閣感染症危機統括庁が発足した。</u> そのほか、…
16	図 2-2	疾病の自然史と予防手段の適用段階	（図内下から2行目） 活動制限防止 （出典） シンプル衛生公衆衛生学 2019. 南江堂, 2019, p.50より一部改変引用	（図内下から2行目） 能力低下防止 （出典） シンプル衛生公衆衛生学 2023. 南江堂, 2023, p.54より一部改変引用
25	表 2-5	アルコール飲用に 関係のある身体的・ 心理的および行動的 健康問題	（表内右列下から2行目） 脳の萎縮、アルコール性痴呆・健忘、末梢神経炎…	（表内右列下から2行目） 脳の萎縮、アルコール性認知症・健忘、末梢神経炎…
27	下 9～ 下 8	(4) 喫煙	…決定した。 <u>2022年</u> の日本版のテーマは「たばこの健康影響を知ろう！～若者への健康影響について～」であった。	…決定した。 <u>2023年</u> の日本版のテーマは「たばこの健康影響を知ろう！～望まない受動喫煙のない社会を目指して～」であった。
29	8 下 4	(1) 保健所の機構	特別区立が23, 合計468か所に保健所を設置している（ <u>2022年</u> ）。 （ <u>2022年</u> 4月）。	特別区立が23, 合計468か所に保健所を設置している（ <u>2023年</u> ）。 （ <u>2023年</u> 4月）。
35	下 3	(1) 保健医療の専門職者	下線部を追加	…ただし、 <u>食生活改善推進員</u> 、 <u>医療社会事業従事者</u> 、 <u>臨床心理士</u> の国家資格はない。
37	下 14	(3) 医療保障	国全体の医療費を国民医療費（ <u>2019年度</u> に44.4兆円）という。…	国全体の医療費を国民医療費（ <u>2020年度</u> に43.0兆円）という。…

37	下2～ 下1	(3) 医療保障	医療保険の適用人口は、2019年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が4,797万人、給与所得者などの被用者保険本人が4,578万人、その被扶養者が3,218万人である。	医療保険の適用人口は、2020年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が4,696万人、給与所得者などの被用者保険本人が4,608万人、その被扶養者が3,171万人である。								
38	6～13	(4) 国民医療費	6行目～13行目の下線部を修正									
			<p>2020年度の国民医療費は43.0兆円で、前年度比3.2%の減少であった。国民所得に占める割合は11.1%（2019年度）、1人当たり年間医療費は、34.6万円であった。</p> <p>国民医療費の負担区分別構成割合（2020年度）は、保険者負担分（被保険者の保険料と保険者あるいは雇用主の負担分とを合わせたもの）49.5%、後期高齢者医療給付分および公費負担分38.4%、患者負担分など12.1%となっている。</p> <p>国民医療費のうち、歯科治療費、薬剤調剤費、入院時食事医療費などは26.5%で、あとの71.6%は医科関係の入院と外来の一般診療費、その他1.9%である。</p> <p>年齢階級別では、人口の29.1%を占める65歳以上の人口が国民医療費の61.5%を消</p>									
49	5	1) 食品の意義と食生活	…農林水産省の報告では、2021年の食料自給率は38%である。…	…農林水産省の報告では、2022年の食料自給率は38%である。…								
51	2	2) 保健機能食品	…（2022年3月現在、1,069商品が許可、承認）。	…（2023年4月末現在、1,069商品が許可、承認）。								
	16		届け出たものである（2020年3月現在、2,568商品が公表）。	届け出たものである（2023年4月末現在、6,166商品が公表）。								
56	表3-7	健康日本21（第二次）における主な栄養・食生活の数値目標と現状値	表題を「健康日本21（第二次）における主な栄養・食生活の数値目標と最終評価」とし、右端の列を右表に差し替え	<table border="1"> <thead> <tr> <th>最終評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>10.1g</td> </tr> <tr> <td>281g</td> </tr> <tr> <td>63.3%</td> </tr> </tbody> </table>	最終評価	35.1%	22.5%	20.7%	56.1%	10.1g	281g	63.3%
	最終評価											
35.1%												
22.5%												
20.7%												
56.1%												
10.1g												
281g												
63.3%												
	1	(1) 栄養素の欠乏または過剰	目標と現状値を表3-7に示したが、…	目標と最終評価を表3-7に示したが、…								
59	下8～ 下7	(1) 指定添加物	…安全性が確認された添加物が、472品目指定されている（2021年3月末現在）。たとえば…	…安全性が確認された添加物が、474品目指定されている（2023年3月末現在）。たとえば…								
60	3	(2) 指定添加物以外の食品添加物	…2021年3月現在357品目が…	…2023年3月現在357品目が…								
63	13	5) 食中毒	推移している。2021年の食中毒の事件数は717件、患者数は11,080人でうち2名が亡	推移している。2022年の食中毒の事件数は962件、患者数は6,856人でうち5名が亡								
	16		2021年の食中毒統計調査によれば、…	2022年の食中毒統計調査によれば、…								

63	下 14～ 下 10	5) 食中毒	下から 14 行目～下から 10 行目の下線部を修正																																									
			するものが 53.7%と最も多く、次いで複合調理食品 7.0%、肉類及びその加工品 4.9%の順であった。病因物質の判明した事件数では、アニサキスが全体の 59.4%、次いでカンピロバクターが 19.4%を占めている。患者数ではノロウイルスが全体の 32.2%を占めている。原因施設別の事件数は、判明したもののうち飲食店が 56.5%、次いで家庭が 19.3%を占めている。																																									
67	下 1	(2) ウイルス性食中毒	たが、2021 年度は 10.2%に減少している。	たが、2022 年度は 6.6%に減少している。																																								
69	下 4～ 下 3	(5) 寄生虫性食中毒	…2020 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが 44.3%を占めている。	…2022 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが 59.4%を占めている。																																								
70	下 5	7) 遺伝子組替え食品	…2022 年 3 月現在、330 品種の食品と 68 品目の添加	…2023 年 3 月末現在、333 品種の食品と 76 品目の添加																																								
73	下 1	2) 運動と健康の保持・増進	づくりのための運動指針」を作成した(表 3-14)。これは、…	下線部を削除																																								
74	表 3-14	健康づくりのための運動指針	表を削除																																									
	表 3-15	健康日本 21 における身体活動・運動の数値目標と調査結果	表 3-15	表 3-14																																								
	7	2) 運動と健康の保持・増進	項目で達成できなかった(表 3-15)。この反省を踏まえ、…	項目で達成できなかった(表 3-14)。この反省を踏まえ、…																																								
	8～11		8 行目～11 行目を以下の文章に差し替え 20～64 歳の男性で 1 日 9,000 歩、女性で 8,500 歩、65 歳以上の男性で 1 日 7,000 歩、女性で 6,000 歩、週 2 回、1 回 30 分以上の運動を 1 年間継続している運動習慣のある人の割合を 20～64 歳の男性で 36%、女性で 33%、65 歳以上の男性で 58%、女性で 48%を 2022 年までの目標値と定めたが、最終評価においてすべての数値目標が達成されなかった(表 3-15)。																																									
	表	表 3-15 として下表を追加																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">表 3-15 健康日本 21 (第 2 次) における身体活動・運動の数値目標と最終評価</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>性別</th> <th>数値目標</th> <th>最終評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">日常生活における歩数の増加</td> <td rowspan="2">20 歳～64 歳</td> <td>男性</td> <td>9,000 歩</td> <td>7,864 歩</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>8,500 歩</td> <td>6,685 歩</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">65 歳以上</td> <td>男性</td> <td>7,000 歩</td> <td>5,396 歩</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>6,000 歩</td> <td>4,656 歩</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運動習慣者の割合の増加</td> <td rowspan="2">20 歳～64 歳</td> <td>男性</td> <td>36 %</td> <td>23.5 %</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>33 %</td> <td>16.9 %</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">65 歳以上</td> <td>男性</td> <td>58 %</td> <td>41.9 %</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>48 %</td> <td>33.9 %</td> </tr> </tbody> </table>					表 3-15 健康日本 21 (第 2 次) における身体活動・運動の数値目標と最終評価					項目	対象	性別	数値目標	最終評価	日常生活における歩数の増加	20 歳～64 歳	男性	9,000 歩	7,864 歩	女性	8,500 歩	6,685 歩	65 歳以上	男性	7,000 歩	5,396 歩	女性	6,000 歩	4,656 歩	運動習慣者の割合の増加	20 歳～64 歳	男性	36 %	23.5 %	女性	33 %	16.9 %	65 歳以上	男性	58 %	41.9 %	女性	48 %
表 3-15 健康日本 21 (第 2 次) における身体活動・運動の数値目標と最終評価																																												
項目	対象	性別	数値目標	最終評価																																								
日常生活における歩数の増加	20 歳～64 歳	男性	9,000 歩	7,864 歩																																								
		女性	8,500 歩	6,685 歩																																								
	65 歳以上	男性	7,000 歩	5,396 歩																																								
		女性	6,000 歩	4,656 歩																																								
運動習慣者の割合の増加	20 歳～64 歳	男性	36 %	23.5 %																																								
		女性	33 %	16.9 %																																								
	65 歳以上	男性	58 %	41.9 %																																								
		女性	48 %	33.9 %																																								
142	8～9	1)じん肺・一酸化炭素中毒・酸素欠乏症・有機溶剤中毒・金属中毒	…倒れる場合である。全国で毎年 10 人前後が死亡する。	…倒れる場合である。なお、最近 20 年の全国死者数は 10 人未満である。																																								

155	下 9	5) 精神保健福祉法	下から 9 行目の次に以下の文章を追加	
		また、2022 年には、障害者総合支援法の改正に伴い、精神保健福祉法についても改正が行われ、都道府県および市町村が実施する精神保健に関する相談支援体制の整備や、医療保護入院について入院期間を設定する等の見直し、「入院者訪問支援事業」の創設、精神科病院における虐待防止に向けた取り組みの一層の推進などについて規定された。		
156	10	(1) 入院治療	…措置患者数は <u>次第に減少</u> している。	…措置患者数は <u>減少傾向</u> である。
	下 3～ 下 2	(2) 通院治療	在院患者の場合は、統合失調症が全体の <u>60.9%</u> と過半数を占め、外来患者の場合は、気分障害 (34.3%)、統合失調症 (24.0%)、神経症 (22.8%) が多い。…	在院患者の場合は、統合失調症が全体の <u>60.4%</u> と過半数を占め、外来患者の場合は、気分障害 (34.3%)、神経症 (23.4%)、統合失調症 (18.8%) が多い。…
161	7	1. 母子保健の意義	…その後漸減し、 <u>2021 年は 1.30</u> に減少している。	…その後漸減し、 <u>2022 年は 1.26</u> に減少している。
167	11	4. 母体保護と家族計画	…全国で年間約 <u>14 万 1 千件</u> (2020 年) にのぼる。このうち <u>94%</u> は…	…全国で年間約 <u>12 万 6 千件</u> (2021 年) にのぼる。このうち約 <u>9 割</u> は…
	下 4	1) 少子化問題	1.26 であ <u>った</u> 。	1.26 であり、その後やや <u>上昇傾向</u> が続いたが、2016 年以降再び <u>低下</u> し、2022 年は 1.26 まで <u>低下</u> している。
171	下 2	1. 学校保健の意義	…その対象者は <u>2020 年</u> 時点で約 <u>2,044 万人</u> であり、…	…その対象者は <u>2022 年</u> 時点で約 <u>2,007 万人</u> であり、…
177	下 3	2) 健康診断	…あげられる。 <u>2022 年 4 月</u> 現在の定期健康診断の…	…あげられる。 <u>2023 年 4 月</u> 現在の定期健康診断の…
178	表 8-2	定期健康診断の検査項目と実施学年	<u>2022 年 4 月</u> 現在	<u>2023 年 4 月</u> 現在 ※表自体の変更はなし
180	表 8-3	学校環境衛生基準 (平成 30 年度改訂版) の主な内容	(表題) 学校環境衛生基準 (<u>平成 30 年度改訂版</u>) の主な内容 (抜粋) (換気および保温など・基準) 温度： <u>17°C</u> 以上 CO： <u>10ppm</u> 以下 (左列) 右のとおり区分を変更	(表題) 下線部を削除 (換気および保温など・基準) 温度： <u>18°C</u> 以上 CO： <u>6ppm</u> 以下 (左列) 教室などの環境 換気および保温など 採光および照明 騒音 飲料水などの水質および施設・設備 水質 (水道法水質基準による)・設備の衛生状態

181	表 8-4	学校において予防すべき感染症	表上に「2023年5月改正」の注記を追加し、第二種の「咽頭結膜熱」と「結核 髄膜炎菌性髄膜炎」の間に以下を追加	
		咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで	
		新型コロナウイルス感染症〔病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（2020年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに確認されたものに限る）であるものに限る〕	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	
		結核 髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	
189	下 3	1. 成人・高齢者保健の意義	…全国で <u>120万人</u> いると推定されている（ <u>2000年</u> ，厚生労働省）． …	…全国で <u>300万人以上</u> いると推定されている（ <u>2020年</u> ，厚生労働省）． …
191	13	1) 悪性新生物の予防と対策	…約 30%を占めるに至った（ <u>2021年</u> は <u>26.5%</u> ）．	…約 30%を占めるに至った（ <u>2022年</u> は <u>24.6%</u> ）．
191	下 1～ 次頁 2		都道府県別のがん死亡率をみると、胃がんは秋田、 <u>山形</u> 、 <u>青森</u> に多く、肺がんは北海道、 <u>青森</u> 、 <u>秋田</u> に多く、乳がんは <u>青森</u> 、 <u>北海道</u> 、 <u>長崎</u> に多く、子宮がんは <u>秋田</u> 、 <u>大分</u> 、 <u>鹿児島</u> に多い（ <u>2021年</u> ）．	都道府県別のがん死亡率をみると、胃がんは秋田、 <u>島根</u> 、 <u>山形</u> に多く、肺がんは北海道、 <u>青森</u> 、 <u>和歌山</u> に多く、乳がんは <u>青森</u> 、 <u>岩手</u> 、 <u>山口</u> に多く、子宮がんは <u>青森</u> 、 <u>宮崎</u> 、 <u>島根</u> に多い（ <u>2022年</u> ）．
193	下 16		進め、 <u>2022年</u> 4月現在、がん診療連携拠点病院 <u>406</u> 施設、地域がん診療病院 <u>45</u> 施設が	進め、 <u>2023年</u> 4月現在、がん診療連携拠点病院 <u>402</u> 施設、地域がん診療病院 <u>47</u> 施設が
194	3～4	2) 心臓疾患の予防と対策	…全国の死亡数は約 <u>21万5千人</u> で、全死亡中の <u>14.9%</u> を占め、死因順位はがんが続いて第2位である（ <u>2021年</u> ）． …	…全国の死亡数は約 <u>23万3千人</u> で、全死亡中の <u>14.8%</u> を占め、死因順位はがんが続いて第2位である（ <u>2022年</u> ）． …
197	11～12	(2) 脳卒中	…第3位となり、 <u>2021年</u> 現在では、死亡数は <u>10万5千人</u> で全死亡数の <u>7.3%</u> を占め、 …	…第3位となり、 <u>2022年</u> 現在では、死亡数は <u>10万7千人</u> で全死亡数の <u>6.8%</u> を占め、 …
217	8～9	1) 感染源対策	…検疫が行われる。 <u>2018年</u> 4月現在、日本では <u>80か所</u> の検疫港と <u>30か所</u> の検疫空港が設けられている。	…検疫が行われる。 <u>2023年</u> 4月現在、日本では <u>80か所</u> の検疫海港と <u>30か所</u> の検疫空港が設けられている。
223～ 234	表 10-4	日本の現在の定期の予防接種	本冊子 12 頁の表に差し替え	
224	コラム図 (図注)	新型コロナウイルスの分子構造	…診療の手引き、第 8.1 版、Oct 2022、 https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf	…診療の手引き、第 10.0 版 Aug 2023、 https://www.mhlw.go.jp/content/001136687.pdf

225	11～16	コラム	<p>…肺炎を起こし死亡する例も増えた。WHOは2020年3月、この流行を世界的流行(パンデミック pandemic)であると宣言した。</p> <p>2020年初めから2022年11月までのWHO発表の感染者数は多い国順に、米国9,675万人、インド4,467万人、フランス3,620万人で、日本は2,352万人、世界合計6億3,360万人。また、世界の死者数は660万人(感染者の1.0%)、日本の死者数は4.8万人(感染者の0.2%)であった。…</p>	<p>…肺炎を起こし死亡する例も増えた。WHOは、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を、さらに3月11日には、この流行を世界的流行(パンデミック pandemic)であると宣言した。</p> <p>2023年9月までのWHO発表の感染者数は多い国順に、米国1億344万人、中国9,931万人、インド4,500万人、フランス3,900万人で、8番目に日本3,380万人、世界合計7億7,078万人。また、世界の死者数は696万人(感染者の0.9%)、日本の死者数は7.5万人(感染者の0.2%)であった。…</p>
	21		<p>おり、2022年11月現在は第8波に突入している。…</p>	<p>おり、2023年9月現在は第9波に突入している。…</p>
	下16～ 下14		<p>ワクチン接種は2021年から開始され、2022年11月現在、第5回目接種が開始されたが、回を経るごとに接種率は下がっている。第1～2回は77%以上あった接種率も、第3回目は67%、第4回目は36%と下がっている。</p>	<p>ワクチン接種は2021年から開始され、2023年9月現在、第7回目接種が開始されたが、回を経るごとに接種率は下がっている。第1～2回は80%以上あった接種率も、第3回目は69%、第4回目は47%、第5回は26%、第6回は16%と下がっている。</p>
	下1		<p>最下行に以下の文章を追加</p> <p>2022年夏の第7波以降は、緊急事態宣言などの行動制限は行われず、同年10月には水際対策も緩和され、政府はコロナ対策を「社会経済活動との両立」に舵を切った。WHOは、2023年5月5日に前出の「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を解除し、わが国も同年5月8日に、当初の感染症法上の指定感染症および新型インフルエンザ等感染症(新型コロナウイルス感染症:2類相当)から5類感染症に位置づけを見直した。訪日外客数も徐々に増え、同年8月では2019年同月比85.6%まで持ち直した。</p>	
234	下10～ 下9	(4) 塩素系消毒剤	<p>…次亜塩素酸ナトリウム、<u>クロルヘキシジン</u>などがある。…</p>	下線部を削除
259	下5	3. 主要な保健統計指標	<p>…有訴者率、受療率、<u>致命率</u>である。</p>	…有訴者率、受療率、 <u>致死率</u> である。
259	下3		<p>…本節では一般によく使われる<u>粗出生率</u>と…</p>	下線部を削除
261	5～6	2)性・年齢別人口構成	<p>…また、<u>72～74歳</u>の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と<u>47～50歳</u>の…</p>	…また、 <u>73～75歳</u> の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と <u>48～51歳</u> の…
263	7		下線部を追加	<p>…あまり増加しないものの、<u>分母</u>となる総人口が減っていくため、…</p>

263	下9		%を超え、 <u>2021</u> 年には <u>28.9%</u> と、 <u>50</u> 年間で…	%を超え、 <u>2022</u> 年には <u>29.0%</u> と、 <u>50</u> 年間で…																																																																																														
	下8～ 下7	2)性・年齢別人口構成	…将来人口推計によると、 <u>2025</u> 年には老年人口割合が <u>30.0%</u> 、 <u>2050</u> 年には <u>37.7%</u> に達すると予測されており、…	…将来人口推計によると、 <u>2030</u> 年には老年人口割合が <u>30.8%</u> 、 <u>2050</u> 年には <u>37.1%</u> に達すると予測されており、…																																																																																														
	下4		<u>2021</u> 年の日本の出生数は約 <u>81</u> 万人であった(図13-4)。統計が…	<u>2022</u> 年の日本の出生数は約 <u>77</u> 万人であった(図13-4)。出生数の統計が…																																																																																														
264	4～5	3)出生数と出生率	…1年間の出生数で表される。なお、出生率は普通出生率あるいは粗出生率ともいわれる。また、出生率(人口千対)と…	下線部を削除																																																																																														
	下15	4)年齢別出生率および合計特殊出生率	<u>1980</u> 年の年齢別出生率のピークは <u>27</u> 歳前後であったが、 <u>2020</u> 年にはピークが <u>30</u> 歳	<u>1981</u> 年の年齢別出生率のピークは <u>27</u> 歳前後であったが、 <u>2021</u> 年にはピークが <u>30</u> 歳																																																																																														
265	2～3		…その後やや回復したが、 <u>2020</u> 年には <u>1.30</u> となった(図13-4)。…	…その後やや回復したが、 <u>2021</u> 年には <u>再び1.26</u> となった(図13-4)。…																																																																																														
	下3	5)粗死亡率	…その後上昇し(表13-2)、 <u>2021</u> 年には <u>11.7</u> (概数)となっている。	…その後上昇し(表13-2)、 <u>2022</u> 年には <u>12.9</u> (概数)となっている。																																																																																														
266	表13-2	下表に差し替え																																																																																																
		<p align="center">表13-2 粗死亡率・年齢調整死亡率(人口千対)の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">粗死亡率¹⁾</th> <th colspan="2">年齢調整死亡率²⁾</th> <th colspan="2">年齢調整死亡率³⁾</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1950年</td> <td>10.9</td> <td>11.4</td> <td>10.3</td> <td>18.6</td> <td>14.6</td> <td>42.2</td> <td>32.8</td> </tr> <tr> <td>'60</td> <td>7.6</td> <td>8.2</td> <td>6.9</td> <td>14.8</td> <td>10.4</td> <td>37.5</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td>'70</td> <td>6.9</td> <td>7.7</td> <td>6.2</td> <td>12.3</td> <td>8.2</td> <td>32.3</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>'80</td> <td>6.2</td> <td>6.8</td> <td>5.6</td> <td>9.2</td> <td>5.8</td> <td>25.7</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td>'90</td> <td>6.7</td> <td>7.4</td> <td>6.0</td> <td>7.5</td> <td>4.2</td> <td>21.3</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>2000</td> <td>7.7</td> <td>8.6</td> <td>6.8</td> <td>6.3</td> <td>3.2</td> <td>17.6</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>'10</td> <td>9.5</td> <td>10.3</td> <td>8.7</td> <td>5.4</td> <td>2.7</td> <td>15.6</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>'20</td> <td>11.1</td> <td>11.8</td> <td>10.5</td> <td>…</td> <td>…</td> <td>13.3</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>'21</td> <td>11.7</td> <td>12.4</td> <td>11.1</td> <td>…</td> <td>…</td> <td>13.6</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>*'22</td> <td>12.9</td> <td>13.5</td> <td>12.3</td> <td>…</td> <td>…</td> <td>…</td> <td>…</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料 厚生労働省「人口動態統計」(*は概数である) 注 1) 年齢調整死亡率と併記したので粗死亡率と表したが、単に死亡率といっているものである。 2) 年齢調整死亡率の基準人口は「1985年モデル人口」であり、年齢5歳階級別死亡率により算出した。 3) 年齢調整死亡率の基準人口は「2015年モデル人口」である。 (国民衛生の動向2022/2023、及び2023/2024)</p>					粗死亡率 ¹⁾			年齢調整死亡率 ²⁾		年齢調整死亡率 ³⁾		総数	男	女	男	女	男	女	1950年	10.9	11.4	10.3	18.6	14.6	42.2	32.8	'60	7.6	8.2	6.9	14.8	10.4	37.5	27.8	'70	6.9	7.7	6.2	12.3	8.2	32.3	23.7	'80	6.2	6.8	5.6	9.2	5.8	25.7	17.9	'90	6.7	7.4	6.0	7.5	4.2	21.3	13.4	2000	7.7	8.6	6.8	6.3	3.2	17.6	9.8	'10	9.5	10.3	8.7	5.4	2.7	15.6	8.3	'20	11.1	11.8	10.5	…	…	13.3	7.2	'21	11.7	12.4	11.1	…	…	13.6	7.4	*'22	12.9	13.5	12.3	…	…
	粗死亡率 ¹⁾			年齢調整死亡率 ²⁾			年齢調整死亡率 ³⁾																																																																																											
	総数	男	女	男	女	男	女																																																																																											
1950年	10.9	11.4	10.3	18.6	14.6	42.2	32.8																																																																																											
'60	7.6	8.2	6.9	14.8	10.4	37.5	27.8																																																																																											
'70	6.9	7.7	6.2	12.3	8.2	32.3	23.7																																																																																											
'80	6.2	6.8	5.6	9.2	5.8	25.7	17.9																																																																																											
'90	6.7	7.4	6.0	7.5	4.2	21.3	13.4																																																																																											
2000	7.7	8.6	6.8	6.3	3.2	17.6	9.8																																																																																											
'10	9.5	10.3	8.7	5.4	2.7	15.6	8.3																																																																																											
'20	11.1	11.8	10.5	…	…	13.3	7.2																																																																																											
'21	11.7	12.4	11.1	…	…	13.6	7.4																																																																																											
*'22	12.9	13.5	12.3	…	…	…	…																																																																																											
266	7	6)年齢別死亡率	図13-7に1935年と <u>2021</u> 年…	図13-7に1935年と <u>2022</u> 年…																																																																																														
	下1	7)年齢調整死亡率	…対象とする人口(たとえば <u>2010</u> 年の日本人口)の…	…対象とする人口(たとえば <u>2015</u> 年の日本人口)の…																																																																																														

267	下 6	7) 年齢調整死亡率	下線部を追加	たものである。しかし、ピラミッド型に近い 1985 年モデル人口は現在の人口構成と大きく異なっているため、新たに 2015 年モデル人口（つぼ型に近い）が提案され、2020 年の統計データから適用された。
267	下 5～ 次頁 2		下から 5 行目～268 頁 2 行目を以下の文章に差し替え 表 13-2 に日本の年齢調整死亡率（1985 年モデル人口および 2015 年モデル人口を適用）を粗死亡率と同時に示す。2015 年モデル人口を適用したことにより、年齢調整死亡率は 2～3 倍高い値になった。しかし、粗死亡率が 1980 年ころから上昇傾向を示しているのに対して、年齢調整死亡率は、いずれのモデル人口を用いた場合にも、1980 年以降もほぼ一貫して低下してきていることがわかる。	
270	3	8) 死因別死亡率	る。なお、老衰は 2018 年に… …低下傾向にあることなどがわかる。 なお、 特に悪性	下線部を削除 …低下傾向にあることなどがわかる（2020 年から「2015 年モデル人口」が適用されて以降、図 13-7 のような毎年の変化を示した図は公表されなくなったが、死因別の増減傾向はほぼ同様である）。特に悪性
272	下 5	9) 生命表	…平均寿命は 87.74 年である。なお、この年の男性の	下線部を削除
273	下 4～ 下 3	9) 生命表	…特に高いことがわかる。 一方、2019 年の日本人の…	…特に高いことがわかる。一方、2020 年から 2021 年にかけて、日本を含む多くの国で男女とも平均寿命が少し縮まっている。これは COVID-19 による死亡率を反映している。 2019 年の日本人の…
274	3		3 行目を以下の文章に差し替え（下から 3 行目～次頁 1 行目の大部分をこちらへ移動） れる。国民生活基礎調査では、日常生活への影響を実態的に把握するという観点から、自覚症状、通院状況、生活影響を独立の指標とし、それぞれの組み合わせにより国民の健康状態を示し、今後の健康政策、保健医療対策の基礎資料としている。有訴者率は以下の式によって算出される。	
274	下 4～ 次頁 1	10) 有訴者率	下から 4 行目～275 頁 1 行目を削除	
275	3	11) 受療率	…把握される。患者調査については先にもふれたが、調査は	下線部を削除
276	3～7	12) 致命率	12) 致命率 致命率（致死率）は、ある疾患に罹患した患者総数に対する、…（中略）…以下の式で表される。 致命率＝ある疾患による死亡数÷その疾患の患者数×100 致命率は治療法の進歩や…	12) 致死率 致死率（致命率）は、ある疾患に罹患した患者総数に対する、…（中略）…以下の式で表される。 致死率＝ある疾患による死亡数÷その疾患の患者数×100 致死率は治療法の進歩や…

276	下 10	12) 致命率	下線部を追加	…推計されている。新型コロナウィルスによる世界主要国の致死率を調査した報告によると、パンデミック初期の2020年2月に8.5%だったのが、2022年8月には0.27%まで約97%低下した。これはワクチン接種の広がりや治療の効果、感染による免疫獲得、ウィルスの変異による弱毒化が関与していると考えられている。
277		13) 致命率	本頁を削除（重複のため）	

2023年発表資料に基づき刷新した図表（上記を除く）

頁	図表番号	タイトル
64	図 3-3	食中毒患者数の年次推移
65	表 3-10	食中毒事件数・患者数等の推移
66	表 3-11	腸管出血性大腸菌（VT 産生）による食中毒の発生状況
140	図 5-1	労働災害による労働者の死傷病者数および死亡者数の推移
141	図 5-2	主な業務上疾病者数の推移
156	表 6-3	全国の精神病院数、在院患者数、措置患者数、措置率、病床利用率の年次推移
157	表 6-4	単科精神病院の在院・外来患者の年次推移
163	表 7-1	年次別妊産婦死亡率（出生 10 万対）の国際比較
165	表 7-2	乳児死亡、新生児死亡および早期新生児死亡の実数、率（出生 10 万対）および割合（2021 年）
	図 7-1	乳児死亡率（出生千対）の国際比較
183	表 8-6	日本スポーツ振興センターの死亡見舞金給付状況（死因別）
184	表 8-7	主な疾病・異常被患率の推移
188	表 9-1	わが国の人口の年齢 3 区分別人口・構成割合および諸指標の年次比較
192	図 9-1	部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率（人口 10 万対）の年次推移
195	図 9-2	心疾患の死亡率（人口 10 万対）の年次推移
198	図 9-4	主要死因別にみた死亡率（人口 10 万対）の年次推移
218	表 10-3	感染症の種類
260	図 13-1	日本の人口および 3 区分人口（2019 年付近の赤い縦線を 2024 年付近へ移動）
261	図 13-2	2022 年の日本の人口ピラミッド
263	図 13-4	出生数と合計特殊出生率の推移
265	図 13-5	母の年齢別にみた出生率の年次比較
267	図 13-6	日本の年齢階級別死亡率の推移
268	図 13-7	日本の死因別死亡率の推移
273	図 13-9	各国の平均寿命の比較

表 10-4 日本の現在の定期的予防接種

	対 象 疾 病 (ワクチン)		接 種		回 数	
			対 象 年 齢 等	標準的な接種年齢等		
A 類 疾 病	ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄 炎(ポリオ)	DPT-IPV 混 合 ワ ク チ ン, DPT 混 合 ワ ク チ ン, IPV ワ ク チ ン, DT 混 合 ワ ク チ ン DT 混 合 ワ ク チ ン	1期初回	生後 2~90 月未満	生後 3~12 月	3 回
			1期追加	生後 2~90 月未満 (1期初回接種(3回)終了後, 6 か月以上の間隔をおく)	1期初回接種(3回)後 12~18 月	1 回
			2期	11~13 歳未満	11~12 歳	1 回
	麻しん 風しん	乾燥弱毒性麻 しん・風しん の単独または 混合ワクチン	1期	生後 12~24 月未満	/	1 回
			2期	5 歳以上 7 歳未満の者であって, 小学 校就学の始期に達する日の 1 年前の日 から当該始期に達する日の前日までの 間にある者		1 回
	日本脳炎	乾燥細胞培養 日本脳炎ワク チン	1期初回	生後 6~90 月未満	3~4 歳	2 回
			1期追加	生後 6~90 月未満 (1期初回終了後概ね 1 年をおく)	4~5 歳	1 回
			2期	9~13 歳未満	9~10 歳	1 回
	B 型肝炎	組換え沈降 B 型肝炎ワクチン	1, 2, 3 回目	1 歳に至るまでの間	生後 2~9 月の間	3 回
	結核	BCG ワクチン	1 歳未満		生後 5~8 月の間	1 回
	Hib 感染症	乾燥ヘモフィ ルス b 型ワク チン	初回 3 回	生後 2 月以上生後 60 月に至る まで	初回接種開始は, 生後 2 月~生後 7 月に至るまで	3 回
			追加 1 回			1 回
	肺炎球菌 (小児)	沈降 7 価肺炎 球菌結合型ワ クチン	初回 3 回	生後 2 月以上生後 60 月に至る まで	初回接種開始は, 生後 2 月~生後 7 月に至るまで 追加接種は, 生後 12 月 ~生後 15 月に至るまで	3 回
			追加 1 回			1 回
	水痘	乾燥弱毒生水 痘ワクチン	1 回目	生後 12~36 月の間	1 回目の注射は生後 12~ 15 月に達するまで. 2 回 目の注射は 1 回目の注射 終了後 6~12 月までの間 隔をおく	2 回
2 回目						
ヒトパピロ ーマウイルス (HPV) 感染症	組換え沈降 2 価, 4 価, 9 価 ヒトパピロー ーマウイルス様 粒子ワクチン	12 歳となる日の属する年度の初日から 16 歳 となる日の属する年度の末日までの間にある 女子		13 歳となる日の属する 年度の初日から当該年度 の末日までの間	3 回	
ロタウイル ス感染症	経口弱毒生ヒ トロタウイル スワクチン	1, 2 回目	出生 6 週 0 日後~24 週 0 日後まで	初回接種については, 生 後 2 月に至った日から出 生 14 週 6 日後までの間	2 回	
	5 価経口弱毒 生ヒトロタウ イルスワクチン	1, 2, 3 回目	出生 6 週 0 日後~32 週 0 日 後まで		3 回	
B 類 疾 病	インフルエ ンザ	インフルエン ザ HA ワクチ ン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち, 一定の 障害を有する者など	/	毎年度 1 回	
	肺炎球菌英 膜感染症	23 価肺炎球菌 荚膜ポリサッ カライドワク チン	ア 65 歳の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち, 一定の 障害を有する者など		1 回	

(2023 年 5 月現在. 国民衛生の動向 2023/2024 を一部改変)

『関係法規』

頁	行	項目	第7版第15刷（2023年1月） 該当箇所	第7版第16刷（2024年4月） 修正
87	下15	(2) 定義	下線部を追加	のをいう。 ※新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日付けで「 <u>新型インフルエンザ等感染症</u> 」から「 <u>五類感染症(定点把握)</u> 」へ変更された。
	下5～ 次頁4		下から5行目「新型コロナウイルス感染症」と、下から1行目「再興型新型コロナウイルス感染症」の項目をすべて削除	
89	5	(2) 予防接種を行う疾病	B類疾病：①インフルエンザ、②前号に掲げる疾病のほか、…	B類疾病：①インフルエンザ、② <u>新型インフルエンザ等感染症</u> 、 <u>指定感染症又は新感染症</u> であって政令で定める疾病、③前2号に掲げる疾病のほか、…
	下12～ 次頁下 11	(4) 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する特例	下から12行目「(4) 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する特例」の項目をすべて削除	
99	3～4	(3) 障害者支援施設等への入所等の措置	…法律第5条第6項の <u>厚生労働省令</u> で定める施設…	…法律第5条第6項の <u>主務省令</u> で定める施設…
102	17	(2) 老人福祉施設	下線部を追加	…居住環境面を考慮したC型とされる <u>ケアハウス</u> が創設された。
112	下14	(6) 自己負担	下線部を追加	なる。なお、特に所得が高い者の <u>負担割合は3割</u> となっている。また、施設を利用するサービス…

『解剖学』

頁	行	項目	第2版第18刷(2023年1月) 該当箇所	第2版第19刷(2024年1月) 修正
312	10	(1) 脳神経	…舌に進入して舌の前方 <u>1/3</u> に	…舌に進入して舌の前方 <u>2/3</u> に
	12		神経を經由して舌の前方 <u>1/3</u> の味覚を…	神経を經由して舌の前方 <u>2/3</u> の味覚を…

『生理学』

頁	行	項目	第3版第10刷(2023年1月) 該当箇所	第3版第11刷(2024年1月) 修正
63	図3-7	胸郭と肺と胸膜	下図に差し替え	
		<p>図3-7 胸郭と肺と胸膜 A: 正常状態(胸膜腔を誇張して示す。実際には非常に狭い)。B: 気胸(肺からの空気が胸膜腔に流入する場合)。 C: 気胸(胸壁外の空気が胸膜腔に流入する場合)。</p>		
	下12	c. 胸腔内圧(胸膜腔内圧)	下線部を追加	を ^{ききゆう} 気胸という(図3-7B, C)。気胸には…
157	下7～ 下5	c. 分娩	出産が近づくと子宮のオキシトシン受容体、および下垂体後葉からのオキシトシン分泌が増え、子宮収縮が増強される。胎児が産道を降下し始めると、子宮頸部が伸展されることによって反射的に下垂体後葉からのオキシトシン分泌が増大し、…	出産が近づくと、子宮の収縮性が増強する。胎児が産道を降下し始めると、子宮頸部が伸展されることによって反射的に下垂体後葉からのオキシトシン分泌が増大し、…
225	5	(3) クエン酸回路と電子伝達系	下線部を追加	…1モルのグルコースから最大38モ

『臨床医学総論』

頁	行	項目	第2版第15刷（2023年1月） 該当箇所	第2版第16刷（2024年1月） 修正
13	表 2-3	既往歴で聴取する事項	・ツベルクリン反応、ワクチン接種の有無と内容	下線部を削除
	6~7	5) 既往歴	…発育状態、ツベルクリン反応、BCG 接種の有無、予防接種、…	下線部を削除
30	図 3-1	特徴的な熱型	④波状熱 ホジキンリンパ腫 マラリア	下線部を削除
34	7	1) 測定法	…水銀血圧計が原則として用いられる。	…水銀血圧計が原則として用いられてきた。
42	下 4	(1) 無欲状顔貌	は無熱である。	は平熱である。
50	下 10	(1) 巨人症	下線部を追加	…本症では指趾が細長く（くも状指趾症）、先天性心疾患…
65	下 1	2) 形	下線部を追加	（スプーン状爪：図 4-15）。
	図 4-15	スプーン爪	下線部を追加	図 4-15 スプーン状爪
74	図 5-3	眼球の構造	図中の鋸状縁の引き出し線位置を修正	
78	8	(1) 嗅覚	…他側の鼻孔に、タバコ・コーヒー。	下線部を削除
80	下 13	(4) 舌の異常	甲状腺機能亢進症、慢性アルコール中毒などでみられる。	甲状腺機能亢進症、アルコール依存症などでみられる。
	下 8	(5) 口腔粘膜の異常	口蓋の先天性奇形として、…	口蓋の先天性異常として、…
98	下 5	1) 脊柱の異常	肋膜炎、膿胸の…	胸膜炎、膿胸の…
136	図 7-3	舞踏運動	図を削除	
137	図 7-5	ジストニー	図を削除	
153	4	1. 救急時の診察	…心筋梗塞など心臓循環器疾患、脳血管疾患、…	下線部を削除
156	下 6	4. 高齢者の診察	下線部を追加	では生理的反応が起こりにくいこともあり、…

159	下 9	(2) 尿の色調・混濁	新鮮な尿は、 <u>薄い</u> 黄色で、…	新鮮な尿は、 <u>淡い</u> 黄色で、…
161	4	(9) ケトン体	…消耗性疾患などで <u>みられる</u> 。	…消耗性疾患などで <u>尿ケトン体</u> が <u>陽性</u> になる。
164	1	(8) 髄液検査の概要	<u>(8) 髄液検査の概要</u>	<u>4) 髄液検査の概要</u>
165	4	(1) 総蛋白、アルブミン、蛋白分画、A/G比	…血漿蛋白を <u>破壊</u> し、 <u>合成</u> して平衡を保っている。…	…血漿蛋白を <u>生成</u> し、 <u>破壊</u> して平衡を保っている。…
166	5	(4) コレステロール	2008 年度から開始された <u>特定検診</u> では…	2008 年度から開始された <u>特定健診</u> では…
176	表	血液生化学検査	下線部を追加 表下部に以下の行を追加	LDH (乳酸脱水素酵素, <u>LD</u>) * 尿素窒素 (BUN, <u>UN</u>) *
LDL-コレステロール*		65 ~ 163 mg/dl	高値 家族性・特発性高コレステロール血症、糖尿病、甲状腺機能低下症、ネフローゼ症候群 低値 家族性低コレステロール血症、肝障害、甲状腺機能亢進症	
187	下 2	(6) 治療	下線部を追加	…作業の合間に <u>適宜</u> 休息をとるように指導する。…
192	13	(3) 分類および原因疾患	感音難聴は、内耳から <u>聴皮質</u> までの神経聴覚路が…	感音難聴は、内耳から <u>大脳皮質聴覚領</u> までの神経聴覚路が…
195	図 10-6	咳・痰の診察の進め方	(図内左上の囲み) <u>問診</u> (図内中央右の囲み) <u>ツェンケル反応</u> 痰の細菌培養検査 細胞診、…	(図内左上の囲み) <u>医療面接</u> (図内中央右の囲み) 痰の細菌培養検査、 <u>PCR</u> 検査、細胞診、…
200	図 10-10	動悸の診察の進め方	(図内中央右の囲み) 下線部を追加	(図内中央右の囲み) <u>総コレステロール</u> 値が低い (120mg/dl以下) …
205	下 3	(5) 検査と鑑別診断	痛みの性状、部位、誘因 (<u>食後</u> など) などから…	痛みの性状、部位、誘因 (<u>食事</u> など) などから…
230	下 4	(4) 臨床症状	<u>運動痛</u> が訴えられる。	り、 <u>運動痛</u> として訴えられる。
231	下 5	(4) 臨床症状	<u>末梢性運動麻痺</u> では、 <u>末梢神経の障害</u> によって <u>起こり</u> 、深部腱反射は消失し、…	<u>末梢神経の障害</u> による <u>末梢性運動麻痺</u> では、 <u>深部腱反射</u> は消失し、…
244	表 10-28	発疹の種類と特徴	下線部を追加	(紫斑の項目) <u>皮下出血</u> によりできる紫紅色の斑。…
251	下 6	(4) 臨床症状	下線部を追加	… <u>鉄欠乏性貧血</u> では <u>スプーン状爪</u> (65 頁図 4-15)、…
253	下 2	(6) 治療	下線部を追加	…必要に応じて経口 <u>糖尿病薬</u> や <u>インスリン</u> で治療

276	4	6) 輸液療法の概要	下線部を追加	…水電解質の喪失を補充する <u>補充輸液</u> (欠乏量輸液)と、体液バランス
280	12	3) 気分障害 (感情障害) / 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	下線部を追加	<u>世界保健機関 (WHO) が作成した ICD-10 (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, 10th Revision : 疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回修正)</u> により, 気分障害…

『臨床医学各論』

頁	行	項目	第2版第20刷(2023年1月) 該当箇所	第2版第21刷(2024年1月) 修正
3	表1-1	感染症の種類	本冊子26・27頁の表に差し替え	
8	4~5	f. 細菌性食中毒	【疫学】2018年の細菌性食中毒発生は465件、6,295人の患者数で、カンピロバクター、ウェルシュ菌、サルモネラが上位を占めている。	【疫学】2022年の細菌性食中毒発生は258件、3,545人の患者数で、カンピロバクター、ウェルシュ菌、サルモネラ、ブドウ球菌が上位を占めている(厚生労働省：食中毒統計資料)。
9	表1-2	おもな細菌性食中毒の特徴	(原因菌・左列) 腸管病原性大腸菌 (原因菌・右列) 組織侵入性(EIEC) ペロ毒素産生性(VTEC)	(原因菌・左列) 病原性大腸菌 (原因菌・右列) 腸管組織侵入性(EIEC) 腸管出血性(EHEC)
	5	f. 細菌性食中毒	④ ペロ毒素産生性病原性大腸菌中毒では、…	④ 腸管出血性大腸菌中毒では、…
12	8	b. 麻疹	…2019年には745例の報告であった。年齢別では、…	…2019年には744人、2022年には6人の報告であった(国立感染症研究所：感染症発生動向調査)。年齢別では、…
13	7~8	c. 風疹	…2019年の報告では2,306人である。40歳代の患者が多く、…	…2019年の報告では2,298人、2022年には15人である(国立感染症研究所：感染症発生動向調査)。40歳代の患者が多く、…
14	4	d. 流行性耳下腺炎	…年間に40万~135万人程度が発症している。学童が主	…年間に40万~140万人程度が発症していると推定される。学童が主
16	15	a. 梅毒	【疫学】2019年の届出患者数は6,639人である。	【疫学】2022年1月3日~10月23日の届出患者数は10,141人である(国立感染症研究所)。男性では20~50歳代、女性では20歳代に多い。
18	9~11	d. エイズ	【疫学】WHOの報告では、2018年の全世界でのHIV感染者ならびにAIDS患者生存者は3,790万人(推定)で、わが国では2018年末現在、HIV感染者は20,836人、AIDS患者は9,313人の届出がある。	【疫学】WHOの報告では、2021年の全世界でのHIV感染者ならびにAIDS患者生存者は約3,840万人(推定)で、わが国では2021年末現在、HIV感染者は23,231人、AIDS患者は10,306人の届出がある。

64	5~7	d. 肺結核	【疫学】 わが国において結核はほかの先進国と比べて患者が多いだけでなく、その減少率の鈍化がみられ、いまだ重要な感染症である。年間1万8千人が新たに活動性結核と診断されている(2015年データ)。	【疫学】 わが国の結核罹患率は、世界的にみて低まん延国(人口10万対10未満)に分類されるまで減少してきたが、年間1万1,500人程度が結核と診断されており、いまだ重要な感染症である(2021年データ)。				
68	10~11	a. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	…その程度(%1秒量, FEV1%)により, …	…その程度(%1秒量, %FEV1)により, …				
75	8~9	b. 肺癌	③ 病気の進行度を示す分類はTNM分類(T因子は腫瘍の大きさ, N因子はリンパ節の広がり, M因子は遠隔転移の有無を示す)でなされる。臨床病期は…	③ 病気の進行度を示す病期分類はTNM分類(T因子は腫瘍の大きさ, N因子はリンパ節の広がり, M因子は遠隔転移の有無を示す)で細分化されている。臨床病期は…				
	表 4-2	非小細胞癌の臨床病期と治療選択	下表に差し替え					
表 4-2 非小細胞癌の臨床病期								
2017年病期分類		N0	N1	N2	N3	M1a	M1b 単発遠隔転移	M1c 多発遠隔転移
T1	T1a (≤1cm)	I A1	II B	III A	III B	IV A	IV A	IV B
	T1b (1~2cm)	I A2	II B	III A	III B	IV A	IV A	IV B
	T1c (2~3cm)	I A3	II B	III A	III B	IV A	IV A	IV B
T2	T2a (3~4cm)	I B	II B	III A	III B	IV A	IV A	IV B
	T2b (4~5cm)	II A	II B	III A	III B	IV A	IV A	IV B
T3	T3 (5~7cm)	II B	III A	III B	III C	IV A	IV A	IV B
T4	T4 (>7cm)	III A	III A	III B	III C	IV A	IV A	IV B
76	<p>T1: 腫瘍の充実成分径 3cm 以下 T1a: 充実成分径 1cm 以下 T1b: 充実成分径 1cm より大, 2cm 以下 T1c: 充実成分径 2cm より大, 3cm 以下 T2: 充実成分径 3cm より大, 5cm 以下もしくは ・主気管支に浸潤しているが気管分岐部には及ばない浸潤 ・臓側胸膜に浸潤している ・肺門部まで進展し, 一側肺の一部または全体に及んでいる無気肺または閉塞性肺炎を伴っている。 T2a: 充実成分径 3cm より大, 4cm 以下 T2b: 充実成分径 4cm より大, 5cm 以下 T3: 充実成分径 5cm より大, 7cm 以下もしくは ・胸壁, 横隔神経, 壁側心膜に浸潤している ・同一肺葉内に離れた腫瘍結節が複数ある。 T4: 充実成分径 7cm より大もしくは ・横隔膜, 縦隔, 心臓, 大血管, 気管, 反回神経, 食道, 椎体, または気管分岐部に浸潤している ・同側の異なる肺葉に一つ以上の衛星腫瘍がある。 N0: 所属リンパ節転移なし N1: 同側の気管支周囲 and/or 同側肺門, 肺内リンパ節への転移 N2: 同側縦隔 and/or 気管分岐下リンパ節への転移 N3: 対側縦隔, 対側肺門, 同側あるいは対側の前斜角筋, 鎖骨上窩リンパ節への転移 M1a: 対側肺内に1つ以上の腫瘍結節か, 胸膜または心膜の結節か, 悪性胸水(同側, 対側), 悪性心嚢水 M1b: 肺以外の一臓器への単発遠隔転移がある M1c: 肺以外の一臓器または多臓器への多発遠隔転移がある (日本肺癌学会編: 肺癌取扱い規約, 第8版, 一部表現を変更)</p>							

86	下5～ 下4	b. 慢性腎不全	…患者数は、 <u>2017年</u> 末現在、 <u>33万4,505人</u> である。導入時の平均年齢は <u>69.68歳</u> である。	…患者数は、 <u>2021年</u> 末現在、 <u>34万9,700人</u> である。導入時の平均年齢は <u>69.67歳</u> である（ <u>日本透析医学会統計調査</u> ）。
91	5～6	a. 腎腫瘍（腎細胞癌）	【疫学】 罹患率は人口10万人あたり約6人で、50～70歳代に多く、男女比は2～3：1と男性に多い。	【疫学】 罹患率は人口10万人あたり約24.1人（男性33.7人、女性15.1人）で、人口10万人あたりの死亡率は7.9人（男性10.3人、女性5.6人）である（ <u>国立がんセンター：がん種別統計情報、2022年</u> ）。50～70歳代に多い。
	下3		下線部を追加	【経過・予後】 5年相対生存率（2009～2011年）は約68.6%（男性70.4%、女性64.8%）である。腫瘍の直径が…
92	3～4	b. 膀胱癌	【疫学】 罹患率は人口10万人あたり16.1人で、2015年の推定患者数は男性16,300人、女性5,000人である。男女ともに…	【疫学】 罹患率は人口10万人あたり約18.5人（男性28.5人、女性9.1人）で、人口10万人あたりの死亡率は7.4人（男性10.4人、女性4.6人）である（ <u>国立がんセンター：がん種別統計情報、2022年</u> ）。男女ともに…
	下2		下線部を追加	【経過・予後】 5年相対生存率（2009～2011年）は約73.3%（男性76.5%、女性63.0%）である。表在癌は…
94	下6～ 下5	b. 前立腺癌	【疫学】 高齢者に多い。 <u>2015年</u> の予測罹患率は年間約98,400人で、男性のがん全体（560,300人）のうち約17.6%を占め、罹患患者数では第1位である。	【疫学】 高齢者に多い。人口10万人あたりの罹患率は約154.3人、死亡率は約21.3人である（ <u>国立がんセンター：がん種別統計情報、2022年</u> ）。
95	下2		下線部を追加	【経過・予後】 5年相対生存率（2009～2011年）は約99.1%である。初期で異型度の…
104	13～14	b. 甲状腺機能低下症	…うつ病や認知症（ <u>痴呆</u> ）と間違えられたりする。	下線部を削除
107	3	a. 副腎皮質機能亢進症（クッシング症候群）	…過剰分泌（クッシング病； <u>既述</u> ），④腫瘍による	…過剰分泌（クッシング病； <u>99頁参照</u> ），④腫瘍による

112	表 7-1	糖尿病の診断基準	下表に差し替え																																																			
表 7-1 糖尿病の診断基準																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="background-color: #e0e0e0;">型の区分と判定基準</td> </tr> <tr> <td colspan="5">① 早朝空腹時血糖値 126 mg/dl 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5">② 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 200 mg/dl 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5">③ 随時血糖値 200 mg/dl 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5">④ HbA1c が 6.5%以上</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="border-top: 1px solid black;">⑤ 早朝空腹時血糖値 110 mg/dl 未満</td> </tr> <tr> <td colspan="5">⑥ 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 140 mg/dl 未満</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①～④のいずれかが確認された場合には「糖尿病型」と判定する。ただし、①～③のいずれかと④が確認された場合には、糖尿病と診断してよい。 ・ ⑤および⑥の血糖値が確認された場合には、「正常型」と判定する。 ・ 上記の「糖尿病型」「正常型」いずれにも属さない場合は「境界型」と判定する。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="background-color: #e0e0e0;">糖尿病の診断</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別の日に行った検査で、「糖尿病型」が再確認できれば糖尿病と診断できる。ただし、初回検査と再検査の少なくとも一方で、必ず血糖値の基準を満たしていることが必要で、HbA1c のみの反復検査による診断は不可。 ・ 血糖値が「糖尿病型」を示し、かつ次のいずれかが認められる場合は、初回検査だけでも糖尿病と診断できる。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 口渇、多飲、多尿、体重減少などの糖尿病の典型的な症状。 2) 確実な糖尿病網膜症。 ・ 検査した血糖値や HbA1c が「糖尿病型」の判定基準以下であっても、過去に「糖尿病型」を示した資料（検査データ）がある場合や、上記 1)、2) の存在の記録がある場合は、糖尿病の疑いをもって対応する。 </td> </tr> </table>					型の区分と判定基準					① 早朝空腹時血糖値 126 mg/dl 以上					② 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 200 mg/dl 以上					③ 随時血糖値 200 mg/dl 以上					④ HbA1c が 6.5%以上					⑤ 早朝空腹時血糖値 110 mg/dl 未満					⑥ 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 140 mg/dl 未満					<ul style="list-style-type: none"> ・ ①～④のいずれかが確認された場合には「糖尿病型」と判定する。ただし、①～③のいずれかと④が確認された場合には、糖尿病と診断してよい。 ・ ⑤および⑥の血糖値が確認された場合には、「正常型」と判定する。 ・ 上記の「糖尿病型」「正常型」いずれにも属さない場合は「境界型」と判定する。 					糖尿病の診断					<ul style="list-style-type: none"> ・ 別の日に行った検査で、「糖尿病型」が再確認できれば糖尿病と診断できる。ただし、初回検査と再検査の少なくとも一方で、必ず血糖値の基準を満たしていることが必要で、HbA1c のみの反復検査による診断は不可。 ・ 血糖値が「糖尿病型」を示し、かつ次のいずれかが認められる場合は、初回検査だけでも糖尿病と診断できる。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 口渇、多飲、多尿、体重減少などの糖尿病の典型的な症状。 2) 確実な糖尿病網膜症。 ・ 検査した血糖値や HbA1c が「糖尿病型」の判定基準以下であっても、過去に「糖尿病型」を示した資料（検査データ）がある場合や、上記 1)、2) の存在の記録がある場合は、糖尿病の疑いをもって対応する。 				
型の区分と判定基準																																																						
① 早朝空腹時血糖値 126 mg/dl 以上																																																						
② 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 200 mg/dl 以上																																																						
③ 随時血糖値 200 mg/dl 以上																																																						
④ HbA1c が 6.5%以上																																																						
⑤ 早朝空腹時血糖値 110 mg/dl 未満																																																						
⑥ 75 g 経口ブドウ糖負荷試験で 2 時間値 140 mg/dl 未満																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ①～④のいずれかが確認された場合には「糖尿病型」と判定する。ただし、①～③のいずれかと④が確認された場合には、糖尿病と診断してよい。 ・ ⑤および⑥の血糖値が確認された場合には、「正常型」と判定する。 ・ 上記の「糖尿病型」「正常型」いずれにも属さない場合は「境界型」と判定する。 																																																						
糖尿病の診断																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別の日に行った検査で、「糖尿病型」が再確認できれば糖尿病と診断できる。ただし、初回検査と再検査の少なくとも一方で、必ず血糖値の基準を満たしていることが必要で、HbA1c のみの反復検査による診断は不可。 ・ 血糖値が「糖尿病型」を示し、かつ次のいずれかが認められる場合は、初回検査だけでも糖尿病と診断できる。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 口渇、多飲、多尿、体重減少などの糖尿病の典型的な症状。 2) 確実な糖尿病網膜症。 ・ 検査した血糖値や HbA1c が「糖尿病型」の判定基準以下であっても、過去に「糖尿病型」を示した資料（検査データ）がある場合や、上記 1)、2) の存在の記録がある場合は、糖尿病の疑いをもって対応する。 																																																						
(日本糖尿病学会編：糖尿病治療ガイド 2022-2023. 文光堂, 2022 をもとに作成)																																																						
112	下 5	a. 糖尿病	【診断】〔表 7-1, 図 7-1 (p. 120)〕	下線部を削除																																																		
117	表 7-4	やせ(るいそう)の原因とおもな疾患	(表内 8 行目) 中毒：薬物中毒, アルコール中毒	(表内 8 行目) 中毒：薬物中毒, アルコール依存症																																																		
120	図 7-1	糖尿病の診断基準	図を削除 (表 7-1 に統合)																																																			
194	1	a. 心不全	30～40%).	約半数).																																																		
196	6		6 行目の次に以下の文章を追加 ⑧ 新たな治療薬：アンジオテンシン受容体拮抗薬に利尿効果を加えた薬剤 (サクビトリルバルサルタン) や、糖尿病薬でもある SGLT2 阻害薬などが標準治療薬に加わってきている。																																																			
199	2～4	(2) 僧帽弁閉鎖不全症	2 行目～4 行目を以下の文章に差し替え ① 大動脈弁狭窄症とともに有病率の高い弁膜疾患である。 ② リウマチ性の頻度は激減し、加齢に伴う変化による僧帽弁閉鎖不全症が増えている。																																																			
222	4	a. 鉄欠乏性貧血	下線部を追加	…女性では約 10～20%程度の発症率と…																																																		
225	1	c. 溶血性貧血	…胆石症, 血尿,	…胆石症, ヘモグロビン尿,																																																		
226	6	d. 再生不良性貧血	多能性幹細胞の障害が…	造血幹細胞の障害が…																																																		

227	12～13	a. 白血病	【疫学】 2017年には、人口10万人あたり <u>10.9人</u> (男 <u>13.0</u> 、女 <u>8.9</u>)が罹患している。また、2018年には <u>8,809人</u> (男 <u>5,270人</u> 、女 <u>3,539人</u>)が死亡している。	【疫学】 2019年には、人口10万人あたり <u>11.3人</u> (男 <u>13.7</u> 、女 <u>9.1</u>)が罹患している。また、2020年には <u>8,983人</u> (男 <u>5,467人</u> 、女 <u>3,516人</u>)が死亡している(国立がん研究センター：がん種別統計情報、2022)。
229	1		白血病の <u>タイプ</u> のほか、悪性リンパ腫の <u>タイプ</u> を示すものもある。	白血病のほか、悪性リンパ腫の <u>病態</u> を示すものもある。
230	10～12	a. 悪性リンパ腫	…悪性リンパ腫の発症は人口10万人当たり約5人で、ホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫の比率はほぼ1:10である。30歳以上では年齢とともに増加する。 男女比は約2:1で男性に多い。	…悪性リンパ腫の罹患率は人口10万人当たり約29.0人(男性31.4、女性26.8)で、2020年には <u>13,786人</u> (男性 <u>7,553人</u> 、女性 <u>6,233人</u>)が死亡している(国立がん研究センター：がん種別統計情報、2022年)。ホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫の比率はほぼ1:10である。30歳以上では年齢とともに増加する。
231	8		下線部を追加	年診断例の5年 <u>相対</u> 生存率は…
233	1	a. 紫斑病	下線部を追加	…6カ月以内に治癒する <u>ことが多い</u> 。
	下14		…X連鎖性(伴性)劣性(潜性)遺伝で、男性に <u>のみ</u> 発症し、	…X連鎖性(伴性)劣性(潜性)遺伝で、 <u>主に</u> 男性に <u>のみ</u> 発症し、
	下11～ 下10	b. 血友病	率である。2013年度の全国調査では、血友病Aの患者は <u>4,761名</u> 、血友病Bの患者は <u>1,008名</u> である。	率である。2021年度の全国調査では、血友病Aの患者は <u>5,657名</u> 、血友病Bの患者は <u>1,257名</u> である(公益財団法人エイズ予防財団：血液凝固異常症全国調査)。
253	3	a. パーキンソン病	下線部を追加	…補完する治療法である。2023年ヴィアレブが発売され、パーキンソン病の症状の日内変動を改善することが期待される。
258	下2	(1) アルツハイマー病	下から2行目の次に以下の文章を追加 2023年、患者の脳神経細胞に蓄積する「アミロイドβ」を除去し、症状の進行を抑えたとされる、レカネマブが発表された。	
264	下4～ 下3	a. 筋萎縮性側索硬化症	下から4行目～同3行目を以下の文章に差し替え 【治療】 これまでは、嚥下困難に対して、経管栄養、胃瘻の造設をし、呼吸筋麻痺に対しては補助呼吸を行うなどの対症療法しかなかったが、筋肉を動かす運動神経を破壊する異常なたんぱく質の増生を防ぎ、症状の悪化を抑えることができる、トフェルセンという新薬が出現した。	

274	下 11	b. 片頭痛	下から 11 行目の次に以下の文章を追加	
			脳に痛みを伝達する三叉神経から放出される CGRP(カルシトニン遺伝子関連ペプチド) という物質が片頭痛に関連しており、予防薬として、抗 CGRP モノクローナル抗体ガルカネズマブ、フレマネズマブ、抗 CGRP 抗体のエレスマブが 2022 年から皮下注製剤として利用できる。	
276	5	a. 関節リウマチ	下線部を追加	…男女比は約 1:4 である。わが国での関節リウマチ患者数は約 82.5 万人と推定される(日本リウマチ学会, 2021 年)。
277	5	a. 全身性エリテマトーデス (SLE)	下線部を追加	…推定患者数は約 6~10 万人である(難病情報センター)。男女
	9		織障害が引き起こされる…	織傷害が引き起こされる…
278	8~9	b. 全身性強皮症	【疫学】 全国の患者数は 2 万人程度と推定され、男女比は約 1:12、好発年齢は 35~55 歳である。	【疫学】 全国の患者数は 3 万人程度と推定され、男女比は約 1:10、好発年齢は 30~60 歳代である(日本リウマチ学会, 2022 年)。
280	1	d. 多発性筋炎・皮膚筋炎	…特有の皮膚病変を伴う 1 病型を皮膚筋炎と	下線部を削除
282	下 6	f. 食物アレルギー	…アレルギーの発現の <u>相関</u> を確認すること…	…アレルギーの発現の <u>関連</u> を確認すること…
283	11	g. 血清病	下線部を追加	…破傷風抗血清療法の約 2~5%、…
302	下 1	(1) 吸入麻酔	下線部を追加	…イレウスでは禁忌である。最近では成人では使用されていないことが多い。
303	下 12	(2) 静脈麻酔	下線部を追加	…ミダゾラム、レミマゾラムなどがある。
304	14~15	(4) バランス麻酔	下線部を追加	方法である。プロポフォールあるいはレミマゾラムで導入し、フェンタニルやレミフェンタニルで鎮痛し、ロクロニウムで筋弛緩を得て気管挿管する。麻酔の維持はプロポフォールあるいはレミマゾラムを持続静注し、
306	1	(7) 全身麻酔の手順	…酸素、 <u>亜酸化窒素</u> 、吸入麻酔薬によ	…酸素、 <u>空気</u> 、吸入麻酔薬によ
	4		下線部を追加	…吸入麻酔薬を酸素、 <u>空気</u> (必要があれば <u>亜酸化窒素</u>)とともに…
	15		気管チューブを抜く前に <u>ネオスチグミン</u> をアトロピンとともに投与し、…	気管チューブを抜く前に <u>筋弛緩回復薬</u> の <u>スガマデクスナトリウム</u> を投与し、…

311	5~6	a. 子宮頸癌	…わが国での年間罹患数は約 <u>11,000 人程度</u> で、 <u>2018 年には 2,871 人が死亡している</u> 。好発年齢は 40~60 代で、50 代がもっとも多い。	…わが国での年間罹患数は人口 <u>10 万人あたり約 16.8 人</u> で、 <u>2020 年には 2,887 人が死亡している</u> （国立がん研究センター：がん種別統計情報、2022）。好発年齢は 40~60 歳代で、50 歳代がもっとも多い。
	下 5		下線部を追加	…予後が左右される。 <u>2009~2011 年の 5 年相対生存率は約 76.5% である。</u>
	下 2~ 下 1	b. 子宮体癌	…最近では子宮癌全体の約 <u>50% になっている</u> 。わが国では <u>年間に約 16,000 人が診断され、2018 年には 2,601 人が死亡している</u> 。患者の	…最近では子宮癌全体の <u>50% を超えている</u> 。わが国では人口 <u>10 万人あたりの罹患率は約 27.6 人</u> で、 <u>2020 年には 2,644 人が死亡している</u> （国立がん研究センター：がん種別統計情報、2022 年）。患者の
312	14		下線部を追加	…予後が悪くなる。 <u>2009~2011 年の 5 年相対生存率は約 81.3% である。</u>
	下 16~ 下 15	c. 乳癌	…脂肪摂取量の増加があげられる。 <u>年間に約 92,300 人が発症し、2018 年には 14,653 人が死亡している。</u>	…脂肪摂取量の増加があげられる。 <u>人口 10 万人あたりの罹患率は約 77.5 人（男 1.1, 女 150.0）</u> で、 <u>2020 年には 14,779 人が死亡している</u> （国立がん研究センター：がん種別統計情報、2022 年）。
	下 1		下線部を追加	…15%と悪くなる。 <u>2009~2011 年の 5 年相対生存率は女性で約 92.3% である。</u>
314	下 13	b. アトピー性皮膚炎	下線部を追加	【疫学】罹患率は、学童で約 <u>6~8%</u> 、一般人口で約 <u>1~3%</u> である。
316	4	d. 円形脱毛症	下線部を追加	【疫学】人口の約 <u>1~2%</u> に発症し、…
317	4	a. 結膜炎	…結膜炎は 3 週間で自然治癒する。 <u>最初の 1 週間は伝染力が強い</u> 。クラミジア性	…結膜炎は 3 週間程度で自然治癒するが、 <u>最初の 1 週間は伝染力が強いので注意が必要である</u> 。クラミジア性
318	10	d. 白内障	…全国で約 <u>140 万件</u> の手術が行われる。	…全国で約 <u>160 万件</u> の手術が行われる。
321	4	c. 突発性難聴	対する安静が必要である。 <u>抗ウイルス薬や高血圧素治療なども試みられる。</u>	対する安静が必要である。 <u>副腎皮質ホルモン薬全身投与が行われ、高血圧素治療なども試みられる。</u>

321	10	d. アレルギー性鼻炎	下線部を追加	【疫学】有病率は約12～15%と推定される。1960年代の有病率は約6～7%だったので、…
322	下12～ 下11	a. 神経症	…虚偽性障害と解離性障害に4分割されている。 【疫学】プライマリ・ケアで内科を受診した患者の6～20%は神経症という…	…虚偽性障害と解離性障害に4分割されていた。最新版のDSM-5(2013年)では、不安症群/不安障害群、強迫症および関連症群/強迫性障害および関連障害群、心的外傷およびストレス因関連障害群、解離症群/解離性障害群、身体症状および関連症群に分類されている。 【疫学】プライマリ・ケアで内科を受診した患者の約6～20%は神経症という…
323	13～14	b. 統合失調症	…意識清明であるにもかかわらず現実見当が障害され幻覚や妄想を生じるほか、…	下線部を削除
324	7	c. うつ病	下線部を追加	口の約2.2～3.5%とされる。
	下5～ 下4	d. アルコール依存症	…増加傾向にあり、アルコール依存症が疑われるのは約292万人と推定されている。	…増加傾向にあり、アルコール依存症患者数は約12万人、アルコール依存症が疑われるのは約57万人と推定されている(厚生労働省、2016年)。
325	4		下線部を追加	【経過・予後】断酒率は約20～30%と低い。…
339	表	血液生化学検査	下線部を追加	LDH(乳酸脱水素酵素, LD)* 尿素窒素(BUN, UN)*
		表下部に以下の行を追加		
LDL-コレステロール*		65～163mg/dl	高値 家族性・特発性高コレステロール血症、糖尿病、甲状腺機能低下症、ネフローゼ症候群 低値 家族性低コレステロール血症、肝障害、甲状腺機能亢進症	

表 1-1 感染症の種類〔感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づく分類〕
令和 5（2023）年 5 月施行

	感染症名など	性 格	おもな対応・措置
感染症類型	[1 類感染症] エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ熱	感染力、罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性がきわめて高い感染症	<ul style="list-style-type: none"> ●原則入院 ●消毒などの対物措置（例外的に、建物への措置、通行制限などの措置も適用対象とする）
	[2 類感染症] 急性灰白髄炎 結核 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る） 中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る） 鳥インフルエンザ（H5N1） 鳥インフルエンザ（H7N9）	感染力、罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症	<ul style="list-style-type: none"> ●状況に応じて入院 ●消毒などの対物措置
	[3 類感染症] コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス	感染力、罹患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症	<ul style="list-style-type: none"> ●特定職種への就業制限 ●消毒などの対物措置
	[4 類感染症] E 型肝炎、ウエストナイル熱、A 型肝炎、エキノコックス症、エムボックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ〔鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9）を除く〕、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ポツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱	動物またはその死体、飲食物、衣類、寝具その他の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症（人から人への伝染はない）	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症発生状況の収集、分析と、その結果の公開・提供 ●消毒などの対物措置（動物の輸入禁止、輸入検疫）

表 1-1 (つづき)

	感染症名など	性 格	おもな対応・措置
感染症類型	<p>[5 類感染症]</p> <p>アメーバ赤痢, RS ウイルス感染症, 咽頭結膜熱, インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く), 新型コロナウイルス感染症 [病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和 2 年 1 月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る) であるものに限る], ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型肝炎を除く), A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎, カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症, 感染性胃腸炎, 急性出血性結膜炎, 急性弛緩性麻痺, 急性脳炎 (ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く), クラミジア肺炎 (オウム病を除く), クリプトスポリジウム症, クロイツフェルト・ヤコブ病, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 後天性免疫不全症候群, 細菌性髄膜炎 (侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症を除く), ジアルジア症, 侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症, 侵襲性肺炎球菌感染症, 水痘, 性器クラミジア感染症, 性器ヘルペスウイルス感染症, 尖圭コンジローマ, 先天性風しん症候群, 手足口病, 伝染性紅斑, 突発性発しん, 梅毒, 播種性クリプトコックス症, 破傷風, パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症, パンコマイシン耐性腸球菌感染症, 百日咳, 風しん, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症, ヘルパンギーナ, マイコプラズマ肺炎, 麻しん, 無菌性髄膜炎, メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症, 薬剤耐性アシネトバクター感染症, 薬剤耐性緑膿菌感染症, 流行性角結膜炎, 流行性耳下腺炎, 淋菌感染症</p>	<p>すでに知られている感染症の疾病 (四類感染症を除く) であって, 国民の健康に影響を与えるおそれがあるものとして厚生労働省令で定めるもの</p>	<p>●国が感染症発生動向調査を行い, その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって, 発生・拡大を防止していく</p>

(<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001149889.pdf> をもとに作成)